

広 報 費

小計 ^{2043.305}
~~2043.305~~ 円

領 収 書 等 貼 付 用 紙

広報費	頁小計	726,880円	備考	
-----	-----	----------	----	--

2024年 6月 4日

領 収 書

No. 280971

日本共産党 町田市議団 様

摘 要	金 額
町田市議団ニュース2024年5月号	¥726,330-

上記金額を正に領収致しました

あかつき印刷株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2
電話 03 (3497) 0531 (代表)



①

〈ご利用明細票〉 きらぼし銀行
毎度ご利用いただきましてありがとうございます。
 東京きらぼしLFG
 どうぞお取引内容をお確かめください。

お取引内容	機番	お取引通番	ご利用年月日
お振込	P2	7034	06-06-04
銀行番号	支店番号	科目	口座番号
0597	0010		*****
万円	5千円	千円	500円
			100円
			50円
			10円
			5円
			1円
			832
お取引番号	お取扱い時間	ご利用手数料	お取引金額
7959	08:25	¥550	¥726330
お取扱いコード	おつり	お取引後残高	

(000001)

みずほ銀行
 新宿西口支店
 普通預金 1097253
 アカツキインサツ(カ 様
 ホンキョウサントウマチタ`シキ`タ`ン 様
 電話 042-724-4030

②

紙に貼る。

裏面のご案内もご覧ください。 T3106-0892-0926

領 収 書 等 貼 付 用 紙

広報費	頁小計	475,915円	備考	
-----	-----	----------	----	--

2024年 9月 5日

領 収 書

No. 282889

日本共産党 町田市議団 様

摘 要	金 額
町田市議団ニュース2024年8月号	¥412,335 -

上記金額を正に領収致しました

あかつき印刷株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2
電話 03 (3497) 0531 (代表)



〈ご利用明細票〉 きらぼし銀行
毎度ご利用いただきましてありがとうございます。
東京きらぼしUFG どうぞお取引内容をお確かめください。

お取引内容	機番	お取引通番	ご利用年月日
お振込	P2	4799	06-09-05
銀行番号	支店番号	科目	口座番号
0597	0010		*****
紙幣枚数	取込店番		
万円 5千円 千円 500円 100円 50円 10円 5円 1円	832		
お取引番号	お取引時間	ご利用手数料	お取引金額
5642	08:51	¥440	¥412335
お取引残高	お取引後残高		

(000002)
みずほ銀行
新宿西口支店
普通預金 1097253
アカツキインサツ(カ) 様
案ニホンキヨウサントウマチタ`シキ`タン 様
内 電話 042-724-4030

は別紙に貼る。

④ 8.20 x 7000枚 x 消費税込

領 収 証 日本共産党町田市議団様

No.

金額

¥63140

但 市議団ニュース新聞折込料として

2024年 11月 18日

〒201-8515 東京都町田市森町4-21-19

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

税抜金額

消費税額(%)

株式会社 ポ ス カ ー

代表取締役 浅尾 玲 子

TEL 042-851-7224

FAX 042-851-7234

登録番号 T2012301008322



領 収 書 等 貼 付 用 紙

広報費	頁小計	419,430 円	備考
-----	-----	-----------	----

2024年12月 5日

領 収 書

No. 285036

日本共産党 町田市議団 様

摘 要	金 額
町田市議団ニュース2024年11月号	¥418,990 -

上記金額を正に領収致しました

あかつき印刷株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2
電話 03 (3497) 0531 (代表)



6



〈ご利用明細票〉 きらぼし銀行

毎度ご利用いただきましてありがとうございます。
東京きらぼしFG どうぞお取引内容をお確かめください。

お取引内容	機番	お取引通番	ご利用年月日
お振込	P4	4456	06-12-05
銀行番号	支店番号	科目口座番号	
0597	0010	*****	
紙幣枚数	千円	500円	100円
		50円	10円
		5円	1円
お取引番号	お取引時間	ご利用手数料	お取引金額
8902	09:04	¥440	¥418990
お取引コード	お取引後残高		

紙に貼る。

7

(000011)
みずほ銀行
新宿西口支店
普通預金 1097253
あかつきインサツ(カ)様
ホソキヨウサントウマチダシキタン 様
電話 042-724-4030

裏面のご案内もご覧ください。 T3106-0892-0926

領 収 書 等 貼 付 用 紙

広報費	頁小計	421,080 円	備考
-----	-----	-----------	----

2025年 2月20日

領 収 書

No. 286772

日本共産党 町田市議団 様

摘 要	金 額
町田市議団ニュース2025年2月号	¥420,530 -

上記金額を正に領収致しました

あかつき印刷株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2
電話 03 (3497) 0531 (代表)



⑧

〈ご利用明細票〉 きらぼし銀行

毎度ご利用いただきましてありがとうございます。
東京都きらぼしFG とうぞお取引内容をお確かめください。

お取引内容	機番	お取引通番	ご利用年月日
お振込	P2	6654	07-02-21
銀行番号	支店番号	科目	口座番号
0597	0010		*****
万 円	千 円	百 円	取 扱 店 番
			832
お取引番号	お取引時間	ご利用手数料	お取引金額
7345	08:40	¥550	¥420530
お取引可能日	お取引後残高		
おとり			

⑨

引紙に貼る。

(000004)

みずほ銀行
新宿西口支店
普通預金 1097253
こ アカツキインサツ(カ 様
案 ニホンキヨウサントウマチタシキタン 様
内 電話 042-724-4030

裏面のご案内もご覧ください。

T3106-0892-0926

〒194-8520

東京都町田市森野2-2-22

町田市役所内

日本共産党 町田市議団 御中

請求書

請求日 2024年5月31日

納品日 2024年5月23日

あかつき印刷株式会社

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2

Tel. 03-3497-0531 Fax. 03-3497-0043

登録番号 T1011001000813

お客様コード: [REDACTED]

品名	町田市議団ニュース2024年5月号	号数	5月号	受注No.	280971
規格	タブロイド 406×273 4頁 4色×4色	数量	86,000	注文No.	280971

内訳	数量	金額	備考
デザイン・編集代		160,000	
写真撮影代			
制作代			
写真・地紋代		9,700	
表・グラフ代			
版下制作代			
情報処理代			
製版・出力代		16,000	
色校正代		4,000	
送信・受信代			
刷版代		28,000	
印刷代		120,400	
製本・加工代			
発送結束代			
用紙		260,000	
発送・運賃		62,200	

小計 (税抜)	660,300	10%対象	660,300
消費税	66,030	10%消費税	66,030
切手・ハガキ等立替金 (税込)		10%対象	
		10%消費税	

税抜合計	¥660,300
消費税合計	¥66,030
合計請求額	¥726,330

摘要

振込先口座 みずほ銀行新宿西口支店 (普・1097253)
りそな銀行新宿支店 (普・522185)
中央労働金庫新宿支店 (普・2312142)
郵便振替 00170-8-52646

上記の通り御請求申し上げます。

〒194-8520

東京都町田市森野2-2-22

町田市役所内

請求書

請求日 2024年8月31日

納品日 2024年8月19日

日本共産党 町田市議団 御中

あかつき印刷株式会社

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2

Tel. 03-3497-0531 Fax. 03-3497-0043

お客様コード: XXXXXXXXXX

登録番号 T1011001000813

品名	町田市議団ニュース2024年8月号	号数	8月号	受注No.	282889
規格	タブロイド 406×273 2頁 4色×4色	数量	83,000	注文No.	282889

内訳	数量	金額	備考
デザイン・編集代		80,000	
写真撮影代			
制作代			
写真・地紋代		2,700	
表・グラフ代			
版下制作代			
情報処理代			
製版・出力代		12,000	
色校正代		4,000	
送信・受信代			
刷版代		22,400	
印刷代		58,100	
製本・加工代		12,450	
発送結束代			
用紙		150,000	
発送・運賃		33,200	

小計 (税抜)	374,850	10%対象	374,850
消費税	37,485	10%消費税	37,485
切手・ハキ等立替金 (税込)		10%対象	
		10%消費税	

税抜合計	¥374,850
消費税合計	¥37,485
合計請求額	¥412,335

摘要	振込先口座 みずほ銀行新宿西口支店 (普・1097253) りそな銀行新宿支店 (普・522185) 中央労働金庫新宿支店 (普・2312142) 郵便振替 00170-8-52646
----	---

上記の通り御請求申し上げます。

〒194-8520

東京都町田市森野2-2-22

町田市役所内

請求書

請求日 2024年11月30日

納品日 2024年11月13日

日本共産党 町田市議団 御中

あかつき印刷株式会社

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2

Tel. 03-3497-0531 Fax. 03-3497-0043

お客様コード: [REDACTED]

登録番号 T1011001000813

品名	町田市議団ニュース2024年11月号	号数	11月号	受注No.	285036
規格	タブロイド 406×273 2頁 4色×4色	数量	82,000	注文No.	285036

内訳	数量	金額	備考
デザイン・編集代		80,000	
写真撮影代			
制作代			
写真・地紋代		4,100	
表・グラフ代			
版下制作代			
情報処理代			
製版・出力代		12,000	
色校正代		4,000	
送信・受信代			
刷版代		28,000	
印刷代		57,400	
製本・加工代		12,300	
発送結束代			
用紙		150,000	
発送・運賃		33,100	

小計 (税抜)	380,900	10%対象	380,900
消費税	38,090	10%消費税	38,090
切手・ハガキ等立替金 (税込)		10%対象	
		10%消費税	

税抜合計	¥380,900
消費税合計	¥38,090
合計請求額	¥418,990

摘要	振込先口座 みずほ銀行新宿西口支店 (普・1097253) りそな銀行新宿支店 (普・522185) 中央労働金庫新宿支店 (普・2312142) 郵便振替 00170-8-52646
----	---

上記の通り御請求申し上げます。

〒194-8520

東京都町田市森野2-2-22

町田市役所内

請求書

請求日 2025年2月20日

納品日 2025年2月7日

日本共産党 町田市議団 御中

あかつき印刷株式会社

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2

Tel. 03-3497-0531 Fax. 03-3497-0043

お客様コード: XXXXXXXXXX

登録番号 T1011001000813

品名	町田市議団ニュース2025年2月号	号数	2月号	受注No.	286772
規格	タブロイド 406×273 2頁 4色×4色	数量	82,000	注文No.	286772

内訳	数量	金額	備考
デザイン・編集代		80,000	
写真撮影代			
制作代			
写真・地紋代		5,500	
表・グラフ代			
版下制作代			
情報処理代			
製版・出力代		12,000	
色校正代		4,000	
送信・受信代			
刷版代		28,000	
印刷代		57,400	
製本・加工代		12,300	
発送結束代			
用紙		150,000	
発送・運賃		33,100	

小計 (税抜)	382,300	10%対象	382,300
消費税	38,230	10%消費税	38,230
切手・ハガキ等立替金 (税込)		10%対象	
		10%消費税	

税抜合計	¥382,300
消費税合計	¥38,230
合計請求額	¥420,530

摘要	振込先口座	みずほ銀行新宿西口支店 (普・1097253)
		りそな銀行新宿支店 (普・522185)
		中央労働金庫新宿支店 (普・2312142)
		郵便振替 00170-8-52646

上記の通り御請求申し上げます。

町田市議会
2024年
第1回定例会

4月から 第2子からの 小中学校の給食費無償化に



2024年度予算で、小中学校の給食費無償化、負担軽減が実現しました。小中学校に在籍する第

給食費値上げ分にも補助実施

2024年第1回定例会が、2月22日から3月27日まで行われ、日本共産党市議団が提出した「自民党派閥による政治資金パーティーをめぐる資金問題の真相解明を求める意見書」が、全会一致で可決。組織的違法行為の疑惑解明へ、国会での証人喚問を要求しました。また、2024年度一般会計予算について共産党は、市民の声を無視した学校統廃合や（仮称）国際工芸美術館整備、住民不在の町田駅周辺再開発や団地再生の事業などの予算は問題であるとして反対しました。

「自民党の裏金問題の真相
解明求める意見書」が全会一致で可決!!
日本共産党提出

一方、都内23区では全ての自治体が全員無償化となり、新たな多摩格差となっています。党市議団が、東京都に対して「学校給食費の無償化に全額補助を求める意見書」を提出し、自民公明は反対しました。

無償化に都が責任を

2子以降の児童生徒の給食が無償となります。さらに、今年度から物価高騰に対応するための給食費の値上げが行われましたが、その値上げ分は保護者負担とせず、補助を行い据え置きとなりました。党市議団は繰り返し議会で取り上げ、市長に要望書を届けてきました。市民の声と要望が大きく市を動かし、義務教育の無償化への大きな一歩となりました。



東京都内の給食無償化の状況（2024年4月現在）

党市議団が、公約に掲げ求め続けてきた中学校の全員給食が今年度から順次スタートします。2学期からは、ゆくのき学園との親子方式で堺中学校が、3学期からは金井の給食センターで鶴川地域（金井中、薬師中、真光寺中、鶴川中、鶴川第2中）が始まります。食育の充実、地産地消の推進、小学校のようなおいしい給食になるよう提案していきます。

中学校全員給食が順次スタート

小田急線町田駅にホームドア稼働

一日の乗降客数24万6千人（2022年度）の小田急線町田駅1〜4番ホームに、可動式ホームドアが設置されました。党市議団は、視覚障がい者の皆さんとホームの安全点検を行いながら、混雑する通勤時間帯の転落事故防止のために、ホームドアの設置を急ぐべきと一般質問等でも求めてきました。

小田急線町田駅のホームドア

「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」制定

条例は、障がいを理由とする差別の解消に関し必要な事項を定め、すべての人が、障がいの有無にかかわらず、互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現のために定められたものです。障がいを理由とする差別に関する相談体制とその解決のための市の附属機関として「町田市障がい者差別解消調整委員会」が設置されます。条例制定の過程では検討部会に障がいのある方が参加されています。条例の内容についてぜひご確認ください。

内容は
こちらから

日本共産党
町田市議団ニュース

2024年5月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030

FAX●042-724-4042

メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団

検索

住み続けられる“団地のまちづくり”を



佐々木とも子市議

佐々木とも子市議は、山崎団地のモノレール延伸を見据えたまちづくりについて質問。都市づくり部長は、2024年度から「地区まちづくり構想」を改定するため、自治会などで構成する検討会や団地住民の意見を聞くワークショップを開催し、対話を重ねながら進めていくと答弁。東京都の「高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業（補聴器の購入補助など）」の活用を求めると、「詳細が明らかになったところで内容を確認していく」と答弁。災害対策では、避難所にジェンターの視点を取り入れる、建設予定のパラアリーナを福祉避難所にするなど答えた。



団地再生が予定されている山崎団地

小中学校プール削減見直しを



細野りょう子市議

細野りょう子市議は、教育委員会が発表した小中学校のプールを屋内化、集約化して3分の2削減する「プール整備方針」について質問し、学校プールの存続を求めました。教育部長が「老朽化で建て替えが必要。猛暑でも授業ができる屋内化を進める」と答弁。学校プールのあり方について学校現場や子どもの声を十分聴くよう求めました。また、障がい者の通院交通費補助の改善（対象の拡充、チケット制にするなど）を求めました。福祉部長が「限られた予算の中で、当事者の要望、環境の変化、他市の実施状況など、配慮しながら研究する」と答弁しました。



屋上にある町1小プール

鶴川地域の学校統廃合計画の凍結を求めて



田中美穂市議

田中美穂市議は、鶴川地域の学校統廃合計画において、鶴川2小の仮校舎建設がなくなり、スケジュールや児童の移動に大きな変更が生じている。計画を凍結して児童、保護者などから意見を聞くよう求めました。野津田公園の湿生植物園へのスケートパーク整備計画において、設計のやり直しで大幅に計画が変更されることを明らかにし、関係者への早期の説明を求めました。都市づくり部長は「機会をとらえて説明する」と答弁。また、上の原原っぱへのバス転回広場整備について、利用者の「貴重な草を次世代にそのまま残したい」などの声を紹介し、計画撤回を求めました。



野津田公園上の原原っぱの貴重な草地

町田駅周辺再開発で森野住宅住民説明会を要求



殿村健一市議

殿村健一市議は、町田駅周辺4地区の再開発事業について質問。D地区・公社森野住宅（400戸）住民の住居確保と説明会実施を求めたところ、公社と相談し、情報提供すると答弁。芦ヶ谷公園の（仮称）国際工芸美術館工事は、入札が3度失敗し物価高騰や職人不足、市民が反対している計画は見直すべきだと要求しました。開通した町田都市計画道路3・3・36号について、信号機が廃止、移動した市民病院東交差点の交通安全対策など地域住民の声に基づく対応を要求。部長は、東京都と連携して対応すると答弁しました。



町田都市計画道路3・3・36号接続で廃止・移動した市民病院東交差点信号

8.4haの町田駅
公共施設再編と

町田市は、財政難を理由に、学校統廃合や区すめています。一方、多摩都市モノレール延伸とた団地を集約し、町田駅周辺の大規模再開発や津田公園の再整備で、「にぎわいとエンタメ」の50年ぶりの町田駅周辺再開発（下図、8.4ha）

C地区 森野・西友、パリオ周辺、0.5ha

市民ホールのように利用でき
生涯学習センターと別の教育文化施設

ライブホール（演劇、ミュージカル）やアートキを越えて学べる教育文化施設が入った民間の再開発画。市民ホールのように市民が利用できるのか不安。タービルの中にある市の生涯学習センターと、新たな関係はどのようになるのでしょうか。公共施設の再編や民間活用導入によって、市の教育文化事業と市民の学習する機会が縮小されてはなりません。

バスセンターの上の町田第一歩道橋と大型店舗



D地区 森野住宅周辺、5.5ha

400世帯の森野住宅が大ホール
団地住民はどこに?

D地区が先行エリアに。現在、約400世帯が生社森野住宅が大半を占める区域に、若者が集まる施設（音楽ホールやスポーツ施設）と駅前広場をつくる。住まいは、新しいライフスタイル（住みながら働くなど）対応の環境に変える計画。再開発によって森野団地はなくなり、住民は住み慣れた地を追い出されようとしています。市民の「住み続ける権利」の保障は最優先です。

D地区：400世帯が生社森野住宅



町田駅周辺開発推進計画(案)の開発推

周辺再開発に、お金は大盤振る舞い!

コンパクトシティ化で地域から学校も団地もなくなる!

館削減などの公共施設再編を
携して、町田の歴史をつくってき
民の声を無視した芹ヶ谷公園、野
づくりを行う予算を計上しました。
総事業費は?との質問に、市長は、

「未定だ」と無責任な答弁(前回の再開発は、4.1haで715億円)。「コンパクトシ
ィ化」による都市機能の集約で、地域から学校も団地(木曾山崎団地など)もな
くしていこうとしています。大型開発による「人集め」のまちづくりではなく、町田
市民の暮らし、福祉、教育、環境第一のまちを。だれもが住み続けられるまちづく
りを求めます。

■ 本計画の対象エリア

■ 町田市中心市街地まちづくり計画対象範囲



B地区 森野・小田急町田駅北口周辺、1.4ha

巨大シネコンビルが! 「まほろ横丁」は大丈夫?

百貨店の大駐車場周辺の駅北口に、9~10スクリーンを持つシ
ネマコンプレックスなど巨大な再開発ビルをつくる計画。「金太郎
アメ」のような都市間競争ではいずれ魅力はなくなりません。映画「キ
ネマの神様」ように、多世代の
市民に愛される映画館こそ求め
られています。北側の「まほろ
横丁」にはたくさんの飲食店が。
西側には昭和の時代からがんば
っている立ち飲みのお店もあり
ます。再開発によって立ち退き
が迫られるお店が出る心配はな
いのでしょうか。



百貨店の大駐車場
北側には「まほろ横丁」が

A地区 原町田・モディ、東急ツインズウエスト周辺、1.0ha

バスターミナルとモノレール駅 3駅の要所に大店舗がひしめく

モノレール駅と接続するビルの低層階にはバスター
ミナルを集約。現バスターミナル、センターとの関係
はどうなるのか。再開発の容積率アップで、大型商業
店舗の売り場面積などが拡大し、周辺の商店街に影響
が及んでは困るとの声が出ています。「絹の道」や「二
六の市」の歴史の中
でつくられてきた原
町田の商店街。仲見
世商店街や乾物屋さ
ん、和菓子屋さんな
ど、市民に愛される
個性あるお店や商店
街への支援こそ必要
ではないでしょうか。



町田駅前大型店舗と
ペDESTリアンデッキ

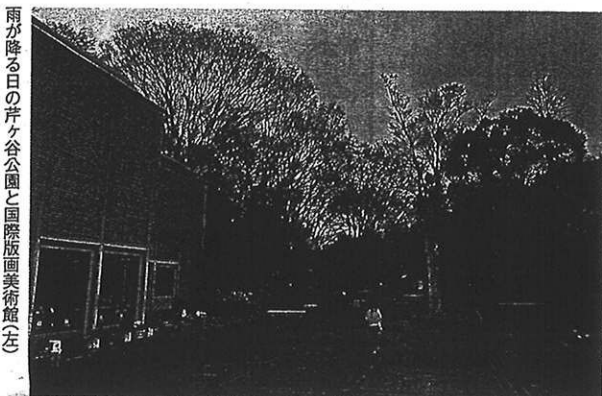
区(A, B, C, D地区)より

日本共産党 大型開発やめ、市民の暮らし、福祉、教育、環境第一の住み続けられるまちを!

芹ヶ谷公園パークミュージアム

事業費10億円増額! 市民不在の計画は見直しを

24年度予算では、(仮称)国際工芸美術館工事費が10億円増額し、43億8千万円に。“パークミュージアム”総事業費は110億円になりました。CM業務(コンストラクション・マネジメント)による設計見直しの結果が出る前の予算化は不当であると市民から請願が出され、共産党などは賛成しましたが、不採択に。物価高騰や人材不足で、これまで3回の入札が不調となる中、さらなる工事費高騰など条件は悪化するばかりです。近隣住民はじめ市民は、「がけ地から平地へ」と計画の抜本見直しを求めています。芹ヶ谷公園の800本の樹木伐採や国際版画美術館大改装に伴う計画を白紙に戻し、市民提案の内容で再検討すべきです。



雨が降る日の芹ヶ谷公園と国際版画美術館(左)

学校なくさなうで！市民が請願提出

町田市の新たな学校づくり推進計画を進めるために、統廃合される4つの学校の校名を廃止する条例(市立学校設置条例の一部)を改正する条例が3月議会に提出され、日本共産党などを除く賛成多数で可決されました。2025年から新しい学校が整備されるまで、本町田東小の児童が本町田小に、南小の児童が南成瀬小に通うこととなります。同時にそれぞれの学校名が廃止されます。

一方、最初に統廃合計画の対象になる住民から「南成瀬地区小学校の統廃合計画を一旦止めて、地方自治の本末の姿として、学校のある地域に丁寧な説明をし、当事者の声を大切に、地域の了解を深めながら、一緒に進めることを求める請願」が提出されました。日本共産党は、市民の声を耳を傾けて、学校統廃合計画の見直しを行うよう求めてかんばります。

「本町田東小、南成瀬小、本町田小、南成瀬小の統廃合と、町田の新たな小学校の開設に反対を求める請願」が提出されましたが、共産党などの賛成多数で不採択になりました。「町田の新たな学校づくり計画」地区中学校計画の開かれた議論を求める請願は委員会でも統廃合を求めました。また、「町田の新たな学校づくり推進計画において、子どもの意見表明の実施を求める請願」が提出されました。無所属などの賛成多数で採択されました。日本共産党は、市民の声を耳を傾けて、学校統廃合計画の見直しを行うよう求めてかんばります。

学校名がなくなる！ 学校統廃合を強行！

本町田小、南成瀬小、本町田東小、南成瀬小の統廃合と、町田の新たな小学校の開設に反対を求める請願

生活苦しいのに「国保税」も「介護保険料」も値上げに!

ヒドイ

町田市は、市民の暮らしが厳しい中で、国民健康保険税、介護保険料を2024年度も値上げする条例改正を提案。共産党を除く賛成多数で可決されました。国保税は一般会計からの繰り入れを段階的にゼロにするため、6年連続の税率改定で24年度は1人あたり113,466円/年となり、5230円/年増額を強行。

介護保険料は基準額で月額6,040円となり、月290円、年間3,400円の負担増となりました。

日本共産党は、市民の暮らしといのちを守るために、国保税に対して一般会計からの繰り入れを増やし負担増を行わないこと。介護保険料については、基金を全額活用して保険料を据え置くように求めました。市民から国保税と介護保険料の「値上げに反対する請願」が出され、共産党のみが賛成。不採択となりました。



どうぞお気軽に

無料法律相談

6月12日(水)・26日(水)
7月10日(水)・24日(水)

午後2時～5時 町田市役所3階共産党会派室

要予約 ☎042-723-6312まで

※会場が変更される場合がありますので、必ずご予約ください。

生活相談はいつでもお受けします
042-724-4030 日本共産党会派室

主な請願と意見書	共産党	日本クラブ	市民公明党	自民党	選ばれる町田	無所属	諸派	結果
南成瀬地区小学校の統廃合計画を一旦止めて(中略)請願	○	×	×	×	×	○	△	不採択
本町田東小学校及び本町田小学校の廃止と「本町田ひなた小学校」の開設に反対を求める請願	○	×	×	×	×	○	×	不採択
国際工芸美術館(仮称)に関し、CM方式による事業予算額が明確にされていないのに3月議会において予算増額案成立させないことを求める請願	○	○	×	×	×	○	△	不採択
まちだの新たな学校づくり推進計画において、子どもの意見表明の実施を求める請願	○	○	×	×	×	○	△	採択
国民健康保険税の値上げを行わないことを求める請願	○	×	×	×	×	×	×	不採択
第9期介護保険料の値上げを行わないことを求める請願	○	×	×	×	×	×	×	不採択
自民党派閥による政治資金パーティをめぐる裏金問題の真相解明を求める意見書	◎	○	○	○	○	○	○	可決
学校給食費の無償化に全額補助を求める意見書	◎	○	×	×	×	○	△	可決
再審法の改正の促進を国に求める意見書	◎	○	×	×	×	○	△	可決

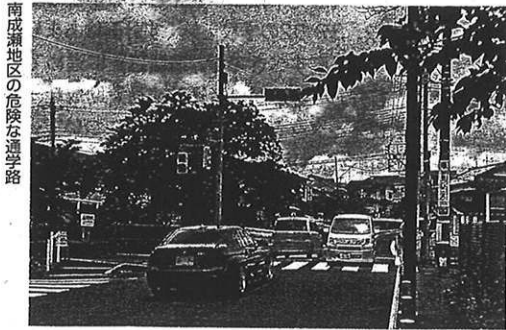
◎提出、○全員賛成、×全員反対、△一部賛成

町田市議会
2024年
第2回定例会

避難所と通学路の安全が明確になるまで 統廃合計画の延期を求める請願が採択

南成瀬小

南2小



南成瀬地区の危険な通学路

「避難所と通学路の安全が明確になるまで南成瀬小と南第二小の統廃合計画の延期を求める請願」を陳述した保護者は、通学路の危険な場所を写真で示して、重い荷物を背負って40分以上も歩いて通う子どもたちの実態を訴えました。「請願」は賛成多数で採択されました。

町田市議会2024年第2回定例会が、6月4日から28日までの日程で行われました。女性団体が提出し採択された「請願」を基にした議員提出議案「選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書」が多数で可決しました。一般会計6月補正予算では、高齢者新型コロナウイルスワクチン定期予防接種事業などの予算が計上されました。同予防接種は65歳以上の方を対象に1回行い、自己負担分3500円以外の費用を国と市が出します。補正予算は全会一致で可決しました。

「選択的夫婦別姓制度導入の国会審議を求める意見書」が多数で可決！

継続審査になっていた、「新たな学校づくり鶴川地区小中学校計画」地域の開かれた議論を求める請願は、鶴川東地区統廃合計画が大幅に変更され、児童、保護者への影響が大きいため、地域住民や

鶴2小に 仮設校舎建たず 計画大幅変更！

本町田地区の「PFI契約前に避難施設の安全性を明確にすることを求める請願」に、防災安全部長は「ひなた村」を代替の避難施設にすると答弁。急坂を登る「ひなた村」では学校に代わる安全な避難所とはなりません。「請願」は賛成少数で不採択になりました。

災害時「ひなた村」の 坂を避難するの？

市民の声は学校存続！ 統廃合計画は見直しを

関係者に対して、再度説明と意見集約を求める内容です。共産党は、住民に開かれた議論を行うべきと討論。しかし、賛成少数で不採択になりました。

この間の急激な資材高騰の影響を受け、2055年度までの学校建替え・改修費用が約2540億円から約4400億円に膨らむ見込みになりました。さらに、直近の国の将来人口推計で、町田市の今後20年間の子どもの減る割合が12.6%と示されました。市も児童生徒数の推計を見直すとしていますが、3割子どもが減るといって前提で策定された「新たな学校づくり推進計画」は全面的に見直すべきです。そして、一人ひとりの子どもにゆきとどいた教育と居場所を保障し、コミュニティの核としての地域の学校を存続すべきです。計画の再検討が求められる今こそ、日本共産党は学校統廃合計画の見直しを求めてがんばります。



補聴器購入補助制度を求める請願

1票差で不採択



「加齢性難聴者の補聴器購入の助成を求める請願」が市民から出され、健康福祉常任委員会で審議されました。請願者からは、東京都内でも年々実施自治体が増えている、町田でも早急に実施してほしいとの話がありました。日本共産党の田中美穂市議が、東京都の「未来の東京戦略 アクションプラン」には、2026年度に都内全ての自治体で補聴器補助制度を実施する目標が書いてある、すべての自治体で必要な制度だということだと思っどうかと質問すると、担当課長は、まずは聞こえのチェックのアプリ活用の効果を検証すると答弁。田中市議は都の補助を活用して購入費補助制度の実施を求めました。委員会では、請願が採択となりましたが、本会議で可否同数で議長が反対に投じて不採択になりました。

自転車用ヘルメット購入補助 第2弾

努力義務となった自転車運転時のヘルメットの購入補助事業が6月議会でも予算化されました。今回は、特に高校生に利用を促すために高校生枠が設定されています。今年度から都立高校への自転車通学でヘルメット着用が義務化されています。ぜひ活用ください。

補助額：1個につき最大2000円
高校生枠：1000件
一般枠：2000件
申請期間：2024年7月1日から2025年1月31日まで
*2024年1月1日～6月末までに購入したものも対象



日本共産党
町田市議団ニュース

2024年8月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団 検索

日本共産党市議団の一般質問

鶴川駅北回バスロータリー工事 利用者の立場で対応を



田中美穂市議

田中美穂市議は、鶴川駅の北口交通広場の工事に対して市民から寄せられた声とその対応を求めて質問。道路部長が「撤去された横断歩道の再設置、鶴川団地行きバス停の屋根の要望が多く寄せられた。横断歩道については、歩道橋整備の前倒しの計画、バス停の屋根は仮設置で対応した」と答弁。田中市議は丁寧な周知と説明会の実施を求めました。金井中と薬師中の学校統廃合見直しを求めた質問に対して学校教育部長が、検討委員会の設置は延期すると答弁しました。

3分の2を廃校にする計画は中止を



細野りょう子市議

町田市の統廃合計画は「統合する学校」を両方廃校にして新しい学校をすることになります。これまでの歴史や校歌が変えられる学校は全部で42校、3分の2の学校を無くす計画はあまりに乱暴で、見直すべきです。市は適正に進めていると答弁。心身障がい者通院交通費助成を一般にも使えるタクシー補助への拡充について、都内で3市を除き実施していることを示しながら求めました。担当部長が「研究する」と答弁しました。中学生全員対象の英語スピーキングテストについて、音が漏れる、事前に質問が漏れるなど、公正公平ではないこと、申請手続きの学校の負担など、現場の声を聞いて都教委に声をあげるように求めました。

公的施設にクーリングシェルターを



佐々木とも子市議

佐々木とも子市議は、熱中症対策として公的施設へのクーリングシェルター(涼み処)開設を求め質問。保健所長が、熱中症特別警戒情報の発令に備えて、できるだけ早く指定する準備を進めていると答弁。また、家族が亡くなった後の行政手続きの「ワンストップ窓口」の設置については、市民部長が「考えていない」としながら、現在のチェックリストは他市の事例を参考に「おくやみハンドブック」の作成を進めていると答えました。

住民参加のまちづくりを!



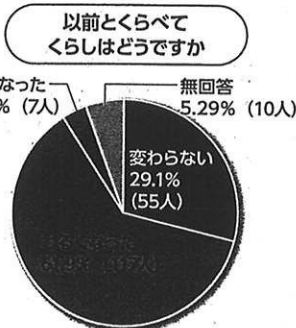
殿村健一市議

殿村健一市議は、町田駅周辺開発推進計画(案)に対する市民意見の内容を質問しました。都市づくり部長は、森野住宅住民から「住み続けたい」という声があったこと。6月下旬に、住民等を対象にした説明会を開催すると答弁(後日、多くの住民が参加)。また、都市計画法の趣旨に基づいた住民参加のまちづくりを要求しました。芹ヶ谷公園パークミュージアム「一体的整備」計画の(仮称)国際工芸美術館整備工事の「CM業務結果報告書」の内容をいただきました。営繕担当部長は、今年度のCM業務で設計や工事費を再検討し、24年8月中の本工事の公告実施に向けた準備をすると答弁しました。「計画」は白紙撤回すべきです。

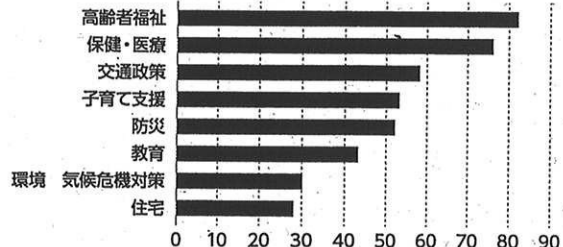


市民アンケート結果 2024.2~3月

日本共産党市議団として、2月~3月に市民アンケートを実施しました。188名の方からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。寄せられた意見を政策提言に活かしていきます。

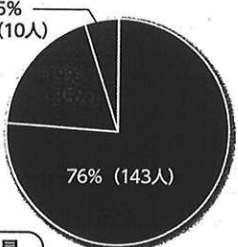


町田市に力を入れて取り組んでほしいこと(複数選択可)



シルバーパスの制度について

- 乗降のどちらかが東京都内であればパスを利用できるようにしてほしい
- 乗降とも東京都内でなければ利用できないというので構わない
- 無回答



学校統廃合の計画に対する主な意見

- ◇ 少子高齢化の現代、多くの学校が学生数の減少になっているが、今こそ逆手に取って少人数教育の実施を進めるべき。子育てや教育に予算を投入したくないという町田市の姿勢そのものが問題。
- ◇ 通学が遠くなるのはかわいそう。
- ◇ こんなに学校を減らすとは思ってなかった。減らしすぎではないか!
- ◇ 統廃合により、学校と家との距離が遠くなる事で不登校が進むと思います。

無料法律相談 どうぞお気軽に

8月28日(水)
9月11日(水)・25日(水) 午後2時~5時

要予約 ☎042-723-6312まで 町田市役所3階 共産党会派室

※会場が変更される場合がありますので、必ずご予約ください。

生活相談はいつでもお受けします
042-724-4030 日本共産党会派室

町田市議会

2024年

第3回定例会

すべての子どもの学校給食費無償化を求め

市長・教育長に要望書提出

日本共産党
町田市議団



榎本副市長に給食費無償化の申し入れを行う町田市議団2024.9.10

町田市は、今年4月から東京都の学校給食費に対する1/2補助を活用して、多子世帯への負担軽減策として第2子以降の給食費無償化をスタートしました。しかし、23区に比べ財政力の弱い多摩地域では完全無償化に舵を切れない自治体も多く、新たな多摩格差が生じていました。

町田市議会2024年第3回定例会が、8月27日から9月30日の日程で行われました。日本共産党は、「高校生等の医療費助成」所得制限撤廃の条例改正など市民要求実現に奮闘しました。また、2023年度一般特別会計決算認定については、国保税連続値上げや、住民不在の学校統廃合、町田駅前再開発、野津田・芹ヶ谷公園の自然を壊す計画は問題だとして反対しました。

子ども、高齢者、障がい者など市民要求実現に奮闘！

都の補助率引き上げ活用し 完全無償化実施を！

日本共産党町議団は、東京都が9月補正予算で都内すべての自治体で給食費無償化が実施できるよう自治体への補助を7/8に引き上げるとしたことを受け、直ちに「都の財源を活用した学校給食の完全無償化を求める要望書」を市長、教育長あてに提出し、3学期からのすべての子どもへの給食費完全無償化を申し入れました。対応した榎本悦次副市長は、都の補助内容を見て「（無償化を）検討する」と回答。3か所の中学校給食センター整備工事も進むなか、いよいよ中学校全員給食実施と給食費完全無償化という長年の保護者の願いが実現することに党市



本町田地区、南成瀬地区 280億円の 新設小学校PFI事業に 日本共産党反対

9月議会最終日に追加議案としてされた「本町田地区・南成瀬地区小学校整備等PFI事業契約」は、3月議会に248億円の予算で可決されましたが、その後入札が不調となり、資材高騰分を3割増額した280億円で、民間事業者（町田ダイバーシティスクール株式会社）と改めて随意契約を締結するというものです。採決の結果は、共産党、無所属、諸派1を除く賛成多数で可決されました。町田市初となる公立小学校のPFI事業は、新校舎の設計・建設のほか、供用開始日からの給食調理を含む学校施設の管理運営を利益優先の民間企業に15年間もの長期契約で任せて、事業者が実施する放課後等の活動や施設貸し出しも、有料化するとしています。日本共産党町議団は、統廃合計画に対する見直しや中止を求める請願が議会のたびに出されるなど住民との合意形成が図られていないことや、学校が担うべき公的役割が後退することから、公立学校の管理運営はPFIを導入すべきではないと討論し、反対しました。

高校生等の医療費助成制度 所得制限撤廃に

子どもの医療費助成制度が町田市でスタートしてから26年。昨年4月から高校3年生相当年齢まで広がりましたが、所得制限があり32%の子どもが対象外でした。今議会では、高校生等の医療費助成に関する「条例」の一部改正が提案され、全会一致で可決。2025年4月1日から所得制限が撤廃されることになりました。日本共産党町議団は、さらに小学生から18歳までの1回2000円の自己負担をなくすためがんばります。

高齢者の補聴器購入費補助 導入検討へ前進

「加齢性難聴への補聴器購入費補助を求める請願」が出され、健康福祉常任委員会で審議されました。前回の議会では、町田市は、東京都の補助の内容を確認すると言っていましたが、今回の審議のなかでは、いきいき生活部長が、東京都の補助を活用して、一部補助を行うことの検討を進めると答弁。本会議の他党一般質問に、副市長が同様の答弁をしていました。大きな前進です。請願については、田中市議は採択するよう意見を述べましたが、継続審査となりました。



日本共産党
町田市議団ニュース

2024年11月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団 検索

日本共産党市議団の一般質問

学校統廃合計画に子どもの意見表明権の実施を



田中美穂市議

田中美穂市議は、学校統廃合の計画において、子どもの意見表明権の実施を求めました。学校教育部長は、学校長からの説明や、職員の出前授業を行うと答弁。田中市議は、子どもが感じている負担や不安をきちんと把握、対応するためにアンケートの実施を求めました。同一世帯の同性カップルに対して住民票に「同居人」ではなく「妻(未届)」「夫(未届)」と表記できるようにしている自治体が複数あり、パートナーシップ宣誓制度のある町田市でも対応するよう求めて質問を行い、市民部長は、今後、国の動向を注視すると答えました。

「核兵器禁止条約」批准を政府に求めよ



佐々木とも子市議

佐々木とも子市議は、来年は被爆80年、非核平和宣言都市として原爆パネル展や、「核兵器禁止条約」批准を政府に要請するよう求めました。地域交通に対するニーズ調査を求める質問には、都市づくり部長が、「(仮称)町田市地域公共交通計画」を策定するため、今年度に市民対象のアンケート調査やワークショップを考えていると答弁。改修工事で休館となる生涯学習センターについては、障がい者青年学級を市民フォーラムや町田第一中学校で開催し、成果発表会も予定していると生涯学習部長が答えました。

温暖化対策として街路樹の役割を問う



殿村健一市議

殿村健一市議は、市の「街路樹更新計画」について、温暖化対策として強剪定をやめ、樹冠被覆率拡大に取り組むよう求めました。町田三中・山崎中統合新設中学校候補地となった本町田小学校の運動場について、自然の森(きぼうの森)を削り確保すると答弁。これは前回の統廃合時の答申に反し、市民合意のない計画の撤回を求めました。町田駅周辺開発推進計画について、市と会社による森野住宅居住者への丁寧な対応を要求。(仮称)国際工芸美術館工事におけるクレーンの位置変更による影響と課題については、施工業者との協議が必要だと答弁しました。

学校統廃合による学童クラブの課題を問う



細野りゆう子市議

細野りゆう子市議は、増加傾向の不登校の子どもたちの居場所と教育保障について質問。「教育支援センター分室」など、学びの場、居場所を整備していくと教育部長が答弁しました。学校内の学級以外の別室に指導員や相談員を配置した2年間のモデル校が好評であり、継続を求めましたが、「継続しない」の答弁。また、学校統廃合により学童保育クラブが統合して、大規模化する課題について質問し、子ども生活部長は「必要なスペースと指導員は確保する」と答弁。細野市議は、1学区1学童の方針を切り替えて、学童クラブの増設を提案しました。

湿生植物園 全面コンクリに設計変更。市民は見直し要求!

町田市は、野津田公園の希少な動植物が息づく湿生植物園をスケートパークにする計画を進めており、2023年度基本設計が行われました。ところが、2024年度予算に基本設計(その2)を再計上し、湿生植物園の約半分を残す内容を全面コンクリート化にして、湿生植物園を廃止してスケートパークにする設計変更を行いました。野津田公園については、地球温暖化対策として、市民から自然の保全の声が高まっています。日本共産党は、スケートパーク計画の見直しを求めました。

湿生植物園を散策する人たち (24.8.20)

鶴川図書館の「廃止条例案」 共産党市議団は反対

「町田市立図書館条例」改正の議案において、鶴川図書館が町田市立図書館でなくなり、図書コミュニティ施設に変更されること、共産党市議団のみ反対の賛成多数で可決されました。市が公共施設の再編で図書館の一部廃止を提案した際に、鶴川図書館の存続を求める請願が市民から出され、議会で採択されていきました。文教社会常任委員会では、条例上の位置付けがなくなるなどの懸念や住民合意の不十分さについて質疑し、本会議でも反対討論を行いました。

団地商店街と共に地域に根ざした鶴川図書館

心身障がい者に対するタクシー運賃補助を町田市の事業にする請願 多数で採択

請願・意見書	共産党	日本クラブ	市民	公明党	自民党	町田	選ばれる	無所属	諸派	可否
心身障がい者に対するタクシー運賃補助を町田市の事業にする請願	○	△	○	○	○	○	○	○	○	採択
校内別室指導支援員配置事業の補助金の継続・拡充を求める意見書	◎	○	×	×	×	×	○	△	△	可決
米不足と価格高騰への緊急対策を求める意見書	◎	△	×	×	×	×	○	△	△	否決
在日米軍人・軍属による性的暴行事件の再発防止、及び関係自治体への迅速な情報の周知徹底を求める意見書	◎	◎	×	×	×	×	○	△	△	可決

◎提出、○全員賛成、×全員反対、△一部賛成

無料法律相談 どうぞお気軽に

11月13日(水)・27日(水)
12月11日(水)・25日(水) 午後2時~5時

要予約 ☎042-723-6312まで 町田市役所3階 共産党会派室

※会場が変更される場合がありますので、必ずご予約ください。

生活相談はいつでもお受けします
042-724-4030 日本共産党会派室

町田市議会

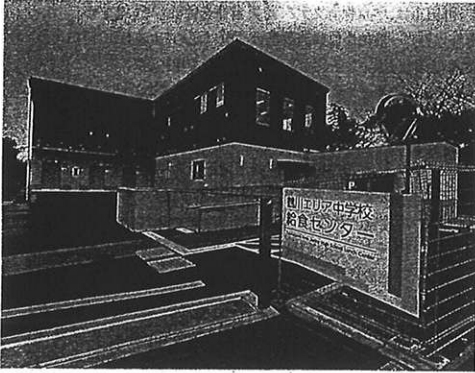
2024年

第4回定例会

学校給食無償化

3学期からスタート

日本共産党
町田市議団



鶴川エリア中学校給食センター

町田市の学校給食無償化が進みました。3学期から、公立小中学校の児童生徒の学校給食が無償となります。また、アレルギー、宗教などの理由で給食を食べられない児童生徒には、給食費相当の給付が行われることになりました。

東京都が、26市に対して補助を増やしたことで、町田市も完全無償化に踏み出しました。市民の方々から請願や要望が出され、党市議団としても議会で取り上げてきました。「食料費は保護者の負担と学校給食法にあるため、無償化はしない」という市の答弁にも、諦めずに取り上げ続け、都議会では共産党都議団

給食無償化 第二子以降→全員へ

2024年第4回定例会市議会が、11月28日から12月26日まで何れも決まりました。小中学校給食費無償化事業の予算1億円などが盛り込まれた一般会計補正予算が全会一致で可決されました。また、市民合意がない中で出された(仮称)国際工芸美術館整備に係る契約議案が多数で可決、共産党は反対しました。共産党が提出した「企業団体献金の禁止を求める意見書」は、自民、公明などの反対で否決。リニア工事に伴う「町田市内の湧水と気泡の発生について速やかな原因究明と住民への説明会実施を」J東海に指導することを求める意見書は多数で可決しました。

が自治体への補助を東京都が行う条例提案をしてきました。憲法で定める「義務教育の無償」の立場で、「食育の教材である学校給食は、教科書と同じように無償に」と国会や都議会、市議会で連携し求めてきました。

一方、選択式ランチボックスの中学校では、ランチボックス給食の申し込みをした家庭のみが無償化の対象となっており、点が課題です。不登校で学校に来られない児童生徒に対しても、補助を行うように引き続き求めていきます。

中学校全員給食も 順次始まっています

堺中学校に続き、鶴川エリアの5つの中学校でも、小学校と同じような温かい配膳式の給食が3学期から始まりました。鶴川エリア給食センターの視察では、できるだけ手作りに近い調理ができる機器が入っていることも確認しました。3学期、実際に給食を食べた中学生からは、保温容器でご飯や汁物が温かかった、と感想が出されています。小山田町田エリアは2025年4月から、南エリアは2025年9月から順次始まりま

す。安全、安心でおいしい給食が提供されるよう、今後も寄せられた声をもとに取り組んでいきます。



谷戸の原風景とシンボルの大ケヤキなくす

(仮称)国際工芸美術館整備は白紙撤回を!

4度目の入札を経て提案された(仮称)国際工芸美術館整備に係る3つの契約議案が自公などの多数で可決しましたが、共産党は、重大な問題点を討論で指摘し反対しました。まず、自然と一体化していない美術館だということです。芹ヶ谷公園の数百本の樹木を切ることで、谷戸の原風景が失われます。中でも、「計画書」で保全を約束した公園のシンボル「4本の大ケヤキ」の伐採は許されません。また、1万1千人を超える市民が「計画」の見直しを求め、今議会に



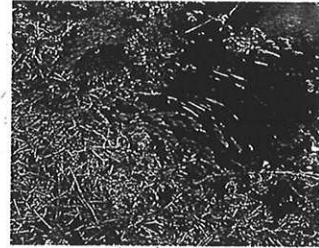
国際版画美術館と芹ヶ谷公園のシンボル「大ケヤキ」

小野路の民家で湧水と気泡の発生

リニア新幹線工事が原因

10月22日に小野路の民家で、突然湧水と気泡が発生した件について、24日、田中美穂市議は池川友一都議と現場に向かい、住民の方からお話を伺いました。現地は、JR東海の進めるリニア中央新幹線の掘進工事の近くにあり、JR東海が屈伸工事を一時中断したのちに、湧水と気泡の発生はおさまりました。市民の方が、気泡の空気を直接採取したところ、酸素濃度が極端に低いという検査結果が出ています。住民の方は、地下のことは目に見えず何が起きているかわからない、とても不安だと話されていました。田中市議は、一般質問で市の対応についてただしました。

その後、12月19日に、JR東海は掘進工事が今回の事象の原因ということを確認、小野路の工事事務所で個別説明の形での説明会を行いました。告知が直前であったこと、この説明だけで工事を再開されては問題だという声が地域の方から寄せられています。地権者の同意もなく進められるリニアの工事。地表に影響が出ているなかで、工事そのものを見直すべきです。



突然、庭に発生した湧水と気泡(中央の泡立っているところ)

日本共産党
町田市議団ニュース

2025年2月号

発行●日本共産党町田市議団
町田市森野2-2-22

電話●042-724-4030
FAX●042-724-4042
メール●jcp.machida.shigidan@gmail.com

日本共産党町田市議団

検索

日本共産党市議団の一般質問

高齢者補聴器購入助成制度実現を



細野りゅう子市議

細野りゅう子市議は、東京都の「補聴器購入助成制度」を活用して、町田市も購入補助を実施するよう求めました。「ヒアリングフレイル対策として検討する」といきいき生活部長が答弁。都制度は「補聴器購入」を進めることが目的であり、市でも早急に実施するよう求めました。

また、災害時の防災対策や避難所体制の充実を求めて質問しました。避難所におけるジェンダー対策と合わせて、避難所運営に女性の配置を求めました。最後に、訪問介護施設の報酬改定による影響について質問し、担当部長は施設の減少など影響はないと答弁しましたが、改めて施設の実態や意見の調査を行うよう求めました。

マイナ保険証の取得は任意です



佐々木とも子市議

佐々木とも子市議は、マイナ保険証の一本化について質問しました。いきいき生活部長は、「現行の被保険者証の有効期限が終了した後は、マイナ保険証が資格確認書のいずれかで受診できる。マイナ保険証をお持ちでも受診が困難な方には、申請により「資格確認書」を交付する」と答弁。高齢者へのごみ出し支援については、環境資源部長が「安否確認を兼ねた「ふれあい収集」の増加が見込まれるので、継続させていきたい。粗大ごみの居宅内からの持ち出しサービスは、他市の実施状況を情報収集していく」としました。

性教育の充実を求めて



田中美穂市議

田中美穂市議は、児童生徒を性暴力の被害者にも加害者にもさせない取り組みについてとりあげ、「生命（いのち）の安全教育」の実施状況について質問。指導室長が、2023年度から全ての小中学校の教育課程に位置付けて実施していると答弁しました。市内中学校を中心に養護教諭と助産師が協力して実施している「命の授業」について、教育的意義を共有していると指導室長が答弁。田中市議は、長野県岡谷市では、市の事業として予算をつけて全校実施をしていることを紹介し、町田市でも取り組みの拡充をすることを求めました。

芹ヶ谷公園パークミュージアム計画は白紙撤回



殿村健一市議

殿村健一市議は、芹ヶ谷公園の自然と原風景を壊す(仮称)国際工芸美術館建設工事は中止し、市民案で計画を見直すべきと質問。部長は、事業を進めると答弁しました。請願が採択された市立さるびあ図書館は存続すべきと質問。部長は、「さるびあ図書館は中央図書館に統合する」と答弁。殿村市議は撤回を求めました。町田駅周辺開発の質問に、部長は、再開発では参加組合員として大手デベロッパーを想定している。D地区の公共施設、音楽・演劇ホールへの市に関与の可能性があるかと答弁。開発優先ではなく「住まいの権利」擁護を求めました。

無料法律相談 どうぞお気軽に
 2月12日(水)・26日(水)
 3月12日(水)・26日(水) 午後2時～5時
 要予約 ☎042-723-6312まで
 ※会場が変更される場合がありますので、必ずご予約ください。
 町田市役所3階 共産党会派室

生活相談はいつでもお受けします
 042-724-4030 日本共産党会派室

「地域活用型学校」って何？ 体育館や校庭有料化の検討が

町田市の「新たな学校づくり」の第1期計画である本町田地区、南成瀬地区、鶴川西地区、鶴川東地区の統廃合と南第一小の建て替え事業が、説明や見直しを求める市民の声に背を向けたまま進められています。この計画と並行して検討されているのが、多様な人々が活用できる「地域活用型学校」です。公立学校は、原則として、学校教育を行う目的で設置されています。町田市は、児童保育クラブ、防災倉庫を併設していますが、学校のある用途地域ではそれ以外の一般的な公共施設等の設置は認められません。町田市は、公立学校を「地域活用型学校」として、予約システムを利用して申し込み、市民に有料で貸し出しができる「集会場」や「スポーツ練習場」を設置できるように変えようとしています。

そのために、現在の学校用地という都市計画上の位置づけを、特別用途地区に変更して制限を緩和することが必要となります。今後、「新たな学校づくり」第1期で整備する5校(本町田ひなた小、成瀬小、南第一小、鶴川東地区小、鶴川西地区小)の用途地域を、学校用地から特別用途地区に変更する計画で、25年6月に都市計画審議会での審議と、議会への条例提案、7月には市民への縦覧、8月の都市計画審議会での決定するという予定で進められようとしています。

学校の体育館や校庭などの施設は、これまで無料でスポーツや地域の催しものに市民利用されてきました。今後町田市が、「全ての学校施設を“地域活用型学校”にする」(教育部長答弁)ねらいは、大規模な学校統廃合や図書館削減などの公共施設再編計画をすすめるから、「市民生活の拠点づくり」の名で、学校施設の管理運営に民間事業者を参入させ、市民に新たな受益者負担を求めるものです。少人数学級など豊かな学校教育の保障と生涯学習への市民参加の機会を奪ってはなりません。市民の声を聴くべきです。



成瀬小学校として4月から開校予定の南成瀬小

野球場の利用料金、1.5倍に値上げ!

市民の「する」スポーツの機会奪うなど共産党反対

町田市は野球場の利用料金を、2025年8月1日から現行の1.5倍にする条例改正案を今議会に提出。対象の球場(町田市民球場・藤の台球場・鶴川球場・野津田球場・三輪みどり山球場)は、地域の少年野球や草野球チームが安価でスポーツを楽しめる公共施設ですが、市の「受益者負担の適正化に関する基本方針」では、選択的に民間に類似サービスの提供ありの受益者負担割合100%となっています。現在は負担率が30%



日向山公園にある藤の台球場

%に満たないため、利用料金を2時間2090円(町田市民球場は3140円)から激変緩和で1.5倍に値上げし、さらに100%を目指す。そうなれば気軽に練習などで使えなくなり、市民の「する」スポーツの機会を奪うことになると日本共産党は反対しましたが、賛成多数で可決されました。

共産党提出「大学学費値上げ中止求める意見書」否決に

請願・意見書	日本共産党	市民クラブ	公明党	自由民主党	選ばれる町田	無所属	諸派	可否
大学学費の値上げ回避のための緊急助成を求める意見書	◎	△	×	×	×	△	△	否決
企業・団体献金の禁止を求める意見書	◎	△	×	×	×	△	△	否決
園に対し、町田市内の湧水と気泡の発生について速やかな原因究明と住民への説明会実施を、JR東海に指導することを求める意見書	◎	○	×	×	×	○	△	可決
2~3年完成が遅れても、15億円以上の予算を節約可能でさらに現在の建設計画の多くの問題を解決可能な、(仮称)国際工芸美術館関連の建設計画の変更見直しを求める請願	○	×	×	×	×	○	△	不採択
6月請願採択に則り、町田市の第一期統廃合計画の延期と見直しを求める請願	○	×	×	×	×	○	△	不採択
「新たな学校づくり」=「地域活用型学校」についての策定、契約、教育に関わる情報を市民にわかるように公表、説明することを求める請願	○	○	×	×	×	○	△	採択

◎提出、○全員賛成、×全員反対、△一部賛成